

医学志す人材育成へ

秀峰と相澤病院 医療現場見学で契約



病院見学で契約書を交わした小宮山校長
(右)と相澤院長

松本市の松本秀峰中等教育学校と相澤病院は、病院見学に関して提携することになり、このほど同院で契約調印を行った。医師の体験談を聞き、センターの見学するなどの活動を通して、熱意を持って医学を志す人材の育成を期待する。

(八代啓子)

調印式には秀峰の小宮山淳校長、相澤病院の相澤孝夫院長らが出席。

小宮山校長は「相澤病院は地域貢献で大きな成果を上げている。スタッフの意欲的な仕事ぶりに触れ、その思いを聞くことで、人間形成や進路に生かしてもらえたうれしい」とあいさつした。

相澤院長も「生徒が勉強の場に選んでくれたことに感謝。やりがいや希望を持つて、医療を担う気持ちになつてほしい」などと話した。主として、医学生物部所属の生徒が対象。医師の体験談、最先端医療の取り組みについてなどの講義形式を年2回ほど予定する。救命急救センター、手術室などの見学・実習は今後調整し、実施していく。

医学生物部の部員は約20人。細菌、薬理学、高山生物学、プラナリアの5グループに分かれて研究を進めている。水木陽菜部長(2年)、児野沙都さん(3年)、宮澤心さん(同)は「医師は将来の目標の一つ」とし、「体験談の中で、生きがい、苦労を聞きたい。陽子線治療センターなど、いろいろ分野、場面に関わる医師、放射線技師の話を聞きたい」と話した。